

夢づくり協働推進事業の実施状況 4

事業名

備中地域の広域観光コースの造成

事業の概要

管内の観光関係団体、商工関係団体、NPO、企業、大学、市町、県民局で組織する「備中地域広域観光振興協議会」を推進主体として、備中地域の歴史、文化、伝統等の文化遺産や様々な地域資源を掘り起こし、備中地域固有のストーリー性を持った学習・体験型、交流型の広域観光モデルコース「鉄の径」及び「酒蔵めぐり」を造成し、商品化を進める。

協働の主体、役割分担

協働の主体	役割分担
備中地域広域観光振興協議会	広域観光モデルコース「鉄の径」及び「酒蔵めぐり」の旅行商品化に向けた取組の企画・協力
水辺のユニオン	広域観光モデルコース「鉄の径」及び「酒蔵めぐり」ツアーへの広報支援
管内旅行事業者	広域観光モデルコース「鉄の径」及び「酒蔵めぐり」ツアーの企画・運行
岡山県酒造組合	広域観光モデルコース「酒蔵めぐり」ツアー企画の支援、各酒蔵の観光受入体制整備の支援
管内の蔵元（酒蔵めぐりツアーに関係した酒蔵）	各酒蔵での旅行者受入体制の整備・充実
吉備路ボランティア観光がっど協会、高梁市観光がっど会、吹屋観光協会ボランティアがっど会	広域観光モデルコース「鉄の径」に関連するスポットでのガイド活動
県民局（協働推進室）	広域観光モデルコース「鉄の径」及び「酒蔵めぐり」の旅行商品化に向けた取組の支援・協力

実施状況

1 岡山・備中「鉄の径」ツアーの実施

(1) 「鉄の径」古代編（日帰りコース）

- ・開催日：9月16日（水）、10月7日（水）
- ・コース：吉備津神社・鬼ノ城（温羅伝説の舞台）、総社市埋蔵文化財学習の館（日本最古級製鉄遺跡等の学習）、中世夢が原（刀鍛冶、備中神楽）、星の郷青空市（野菜、特産品の購入）
- ・参加者：22人（男性12人、女性10人）＜県内22人＞

(2) 「鉄の径」中世編（1泊2日コース）

- ・開催日：10月24日（土）～25日（日）
- ・コース：中世夢が原（刀鍛冶）、たたら操業の見学（新見市）、吹屋ふるさと村（ベンガラ）、高梁市郷土資料館（備中鋏、高瀬舟）、高瀬通し（倉敷市、物流の歴史）、倉敷刀剣美術館（古刀、現代刀の見学）
- ・参加者：11人（男性9人、女性2人）＜県内7人、県外4人＞

(3) 「鉄の径」現代編（1泊2日コース）

- ・開催日：11月17日（火）～18日（水）
- ・コース：JFEミネラル芳井鉱山（石灰石採掘場）、新成羽川ダム・発電所（水力発電）、まなび広場にいみ（たたら学習）、ラ・フォーレ吹屋（備中神楽）、吹屋ふるさと村（ベンガラ）、高梁市郷土資料館（備中鋏、高瀬舟）、高瀬通し（倉敷市、物流の歴史）、JFEスチール西日本製鉄所（現代製鉄の学習）
- ・参加者：7人（男性6人、女性1人）＜県内6人、県外1人＞



岡山・備中「鉄の径」ツアー募集チラシ



「鉄の径」ツアー古代編（日帰り）



「鉄の径」ツアー中世編（1泊2日）



「鉄の径」ツアー現代編（1泊2日）

2 広域観光モデルコース「鉄の径」地域ガイド研修会の開催

「鉄」に関連するスポットの魅力を上向きさせ、来訪者の満足度を高めるために不可欠なガイドを発掘・育成するため、地域のボランティアガイドを対象にした研修会を開催した。

- ・開催日：1月27日（水）
- ・場 所：総社市（鬼ノ城）、高梁市（高梁市郷土資料館、高瀬舟）
- ・内 容：ボランティアガイドを対象に、講師が実際に現地（「鉄」に関連するスポット）を案内しながらガイドのポイントを解説する研修会。
講師：吉備国際大学文化財学部教授 臼井洋輔氏
- ・参加者：吉備路ボランティア観光ガイド協会12人、高梁市観光ガイド会・吹屋観光協会ボランティアガイド会6人



3 「鉄の径」地域セミナーの開催

備中地域に存在する鉄のスポットや歴史・文化を地域資源として理解・再認識し、地域一体となった受入体制の構築に向けた機運醸成を図るため、県民一般を対象としたセミナーを開催した。

- ・開催日：2月17日（水）
- ・場 所：高梁国際ホテル
- ・内 容：①ビデオ上映「鉄の径～先人たちの遺産に学ぶ旅」
②講演「鉄から地域の歴史・文化を考える」 吉備国際大学文化財学部教授 臼井洋輔氏
- ・参加者：約70人

4 「鉄の径」観光素材集の作成

県内外の旅行エージェント等へ「鉄」に関連するスポットの情報を提供し、独自の旅行企画・実施を促すため、旅行商品造成に必要な情報、ストーリー等をまとめた素材集を作成した。

5 備中杜氏の郷（酒蔵めぐり）ツアーの実施

(1) Aコース（日帰り）

- ・開催日：1月13日（水）
- ・コース：酒蔵見学（嘉美心酒造、浅口市）、酒蔵見学（三宅酒造、総社市）
- ・参加者：32人（男性14人、女性18人）＜県内32人＞

(2) Bコース（1泊2日）

- ・開催日：1月23日（土）～24日（日）
- ・コース：酒蔵見学（三光正宗、新見市）、キムチづくり体験（新見市）、船川八幡宮、酒蔵見学（熊屋酒造、倉敷市）、旧野崎家住宅・塩業歴史館（倉敷市）
- ・参加者：21人（男性13人、女性8人）＜県内21人＞

(3) Cコース（日帰り）

- ・開催日：2月2日（火）
- ・コース：酒蔵見学（平喜酒造、浅口市）、酒蔵見学（ヨイキゲン、総社市）
- ・参加者：34人（男性16人、女性18人）＜県内34人＞



「備中杜氏の郷」ツアー募集チラシ



備中杜氏の郷ツアーAコース（日帰り）



備中杜氏の郷ツアーBコース（1泊2日）



備中杜氏の郷ツアーCコース（日帰り）

6 「酒蔵めぐり」での受入体制の検討

備中地域一体となった受入体制を構築するため、統一的な衛生管理体制及び料金体系の検討を行うとともに、各酒蔵で見せ方・楽しませ方で検討することにより、酒蔵ごとの魅力向上を図った。

(1) 全体検討会

- ・開催日：平成21年7月30日（木）、平成22年3月上旬
- ・参加者：岡山県酒造組合、受入可能な酒蔵10社
- ・内容：各酒蔵での特徴的な見学・体験内容やイベント、周辺施設との連携等について提案してもらった。

(2) 個別検討

- ・開催日：平成21年8月～12月
- ・内容：各酒蔵からの提案内容について、現地調査及び内容の精査を行い、見学内容等の魅力向上を図るとともに、検討した内容をツアーに反映させ、ノウハウの蓄積を行った。

成果・効果

- 1 「鉄の径」ツアーについて、協議会が提供した「鉄」に関する素材等をもとに、民間旅行事業者がツアーを企画し、独自の採算設定により実施した。
- 2 「鉄の径」の魅力を上向きさせ、来訪者の満足度を高めるためには、鉄を通じた地域の歴史や文化を解説するガイド役が必要であり、「鉄の径」地域ガイド研修会を開催することにより、「鉄」に関連するスポット等で活動するボランティアガイドをガイド役として育成した。
- 3 「鉄の径」による観光振興を図るためには、地域の方々に「鉄」と地域の歴史や文化等との関わりを知ってもらい、地域一体となつての来訪者受け入れに向けた体制整備が重要であることから、一般県民を対象にしたセミナーを開催し、機運醸成を図った。
- 4 旅行商品造成に必要な情報、ストーリー等をまとめた素材集を作成し、県外エージェント等へ情報提供し、積極的な情報発信を行った。
- 5 「備中杜氏の郷（酒蔵めぐり）」ツアーについて、民間旅行事業者が主体となってツアーを実施することで、旅行商品化に向けた課題等の検証を行った。
- 6 「備中杜氏の郷（酒蔵めぐり）」ツアーの実施により、各酒蔵の見せ方・楽しませ方の創意工夫を誘発し、各酒蔵の観光受入体制の整備につながった。
- 7 協働の主体となる各団体が、役割分担に基づき事業実施することにより、民間主導型の旅行商品化に向けた体制整備の推進を図った。